

第6期 小金井市地域自立支援協議会 部会活動報告

協議テーマ	1 医療的ケア児の支援について 2 医療的ケア児の勉強会企画について 3 不登校児童・生徒への支援体制について
開催回・開催日	10月15日（金）午後5時00分から
記録担当委員名	生涯発達支援部会 佐藤宮子
<p><b>【協議概要】</b></p> <p>1、医療的ケア児の支援について</p> <p>①経過報告</p> <p>9月の専門部会で決めた通り、10月2日（水）に、小幡・佐藤で「児童発達支援More」さんに行ってきた。</p> <p>担当者 砂川 愛さん（児童発達支援管理責任者）</p> <p>「児童発達支援More」0歳～5歳（就学前）重度心身障害者以外、ダウン症、発達障害、痰の吸引、胃ろうなど、比較的動ける子</p> <p>②上記の訪問で、伺った話</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○動けなくてもリハビリや、周りの動ける子の刺激で動けるようになる子が多い。</li> <li>○医療現場から紹介、退院とともに通所開始パターンが多い。</li> <li>○保育園で面倒見られないと断られたケースも。 （階段を登れない、成長とともに周りとの差が大きくなり…など）</li> <li>○「きらり」に入れず、来ている発達障害の子もいる。</li> <li>○訪問看護もある。同じグループ（法人）で、連携している。</li> </ul> <p>2、医療的ケア児の勉強会企画について</p> <p>① 1月の専門部会の1時間程度前に会場が取れているので、そこで実施することを決定。</p> <p>②2011年1月14日（火）前原暫定集会施設B会議室 勉強会は意見交換を含め、16時30分から～18時15分（その後合同部会）</p> <p>③講師：砂川さん（児童発達支援More）。</p> <p>医療的ケア児の受け入れについて、感じている「壁」を話してもらう。</p> <p>「そんなに大変なことではない」警戒を溶きたい。</p> <p>保護者に話してもらう件については打診はするが、難しいと思う。</p> <p>1時間くらいのお話の後、意見交換（45分）にする。</p> <p>④広報について</p> <p>市報掲載、12月15日号 小金井市・教育委員会の後援を取る。</p> <p>学校は、全生徒数の配布は大変なので、置きチラシでもいい。</p>	

障害者週間のイベントで配れるようにする

3、不登校児童・生徒への支援体制について

①相談室や保健室登校の児童・生徒への支援

学校内の居場所になる「人」の育成が必要ではないか

②学校にも支援施設にも通えない児童・生徒への支援

訪問支援員など既存の体制と必要な体制について検討。

③小金井ひきこもり家族会（KHK）・ひきこもり地域家族連絡協議会（東京）ができ、就労移行支援事業所のirutoko(イルトコ)もできた。

4、3月の専門部会の時に、社会参加部会と合同で

「ひきこもり」をテーマに当事者や支援者を招き勉強会をするのはどうか？

【課題となった事項の整理】

1、医療的ケア児の学習会・意見交換で、さらに課題を整理する

2、不登校児童・生徒の支援体制については、人材育成と支援体制の検討、学習会の開催の検討。

【課題解決に向けて】

1、学習会での意見を参考に取り組む。

【次回の協議内容予定】

専門部会の時間を前倒しして、学習会の開催。

【次回の開催日程】

部会 1月14日（火）